

けあなをまのの造物等美藤をりし。さしよふ本と
 極山を後ホて松竹星のぼくまはく。保津哉新
 曲。まよ次未社の舞。びじ。傳吉が妙香ねるが妙
 多。七年が清狂者母稚み。ておらん。最治がう指
 又奥あり。孟の彩。序上と回。ま。玉積の山子。低く
 名。保を惜む。良友の佳計。此は。在。唱。樓。ま。人の
 待。り。所。云

キヌハリノトウロウホシカズヨリヲミ
 綺紗燈宵闇如佛
 ケイセイノテハイリハイヘゴトニ
 粉頭來往鬪芳隣
 ニシモヒガシモガハサンサノカハギ
 東家西家有絡盛

ワキノサハタガガキニギヤカナリ
 月光相對笑天祥内
 スイモノイミヤウトシミシゲウワワカナ
 羅綾綢繆通姪妹
 ガカナクワシハモウセシノウヘニミチ
 裝殺釘核自滿繫

アラヒス。キコイノコクシヤウナドニ
 豹胎間挾鯉泳脆
 コトマンジヲハリテシツボリトナリ
 琴瑟彈畢自清風
 イチヨウク。ケイシヤイチヨウク。ケイセイ
 一般色藝三千戸

シダモノブドウナシ
 鳥攬分挽椰玉生
 ガシキノハチシハツキノニヘ
 堂上人語桂花中
 ナカニモキヤンナクアシニカホナルモアリ
 亦有愁顏隔牆住

初會の堅鋪

嘉興の沈雨若ハ千金と費して金陵の元葉ホと定
 む。初會を是り伴。倡妓の悪品と見えて弄。お
 着。土。有。空。を。後。て。中。を。あ。ま。は。後。し。孟。と。世。
 ぼ。ぶ。ち。ち。練。の。火。を。彫。く。小。記。か。を。燭。香。の。煙。
 晴。して。空。濡。ふ。は。床。の。間。の。舞。ふ。あ。我。新。意。推
 ち。り。也。し。中。ま。刺。中。子。北。下。出。流。の。か。り。の。光。を。あ。や。入。の

青樓 繪抄

十返舎一九編輯

年中行交後編

全部二冊返刻

この年 幸入 初編 漢 元日内院の佳式宝引
七種 表 備 紀 初年 雛 祭 亦 也 乃 乃 乃
紫玉の留画 留 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
免の煙 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
赤武 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
赤個 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

の差別 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
初 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
活 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
妓 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
む 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
悉 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

於青樓仲街濱野屋 集道之樓上

十返舎一九換



江戸繪師

喜多川舎

比奈屋歌麿筆

校合門人

喜多川磨
秀磨
竹磨



彫刻

北藤 一宗

摺工

霍松堂

北藤右衛門

享和四歲^甲子蒼陽發兌

東武日本搦通四町目

書房

上總屋忠助壽櫻

